

関西地区会開催

平成24年7月20日、ホテルグランヴィア大阪で関西地区会(代表幹事：鴨井功、NECシステムテクノロジー(株)顧問)が開催された。参加者60名。

冒頭、鴨井代表幹事が、新事業の創出あるいは新市場の創出は、我々にとって大きな関心事である。関西地区会では、昨年、KIIS(関西情報センター)と連携して、ベンダ間のつながりを持ち、地元のお客様は地元のベンダでサポートしようという地産地消を実現すべく活動をしている。また、2月に発表した「関西クラウド」は、まだ、構想段階であるが、ひとつひとつ具体的な活動にしていきたい。このような活動は、関西だけではなく、各地域でも行われており、仙台で開催されたJISA講演会「地域を変えるIT活用」で熊本県や宮城県から取り組み事例が紹介された。関西地区会も問題意識を持ちながら若い人を交えてベンダ相互のつながりを強く活動に取り入れていきたい。引き続き、活動のサポートをお願いしたいと挨拶された。

続いて、浜口会長は挨拶の中で、前回の地区会以降、JISAは2回ほど韓国ICT事情の視察に行っているが、見にいっているだけでは何にもならない。日本の遅れを挽回しなければならず、韓国の進んだICT利活用の状況について各方面で話したりしているが、JISAにある韓国の関係資料等を活用し、啓蒙をはかっていたきたい。また、日本のITインフラ整備を早く行わなければいけない。現在、政府で検討しているマイナンバー法については業界として後押ししていきたい。この法律の中のプライバシー保護問題についてはどこまでが保護しなければならないプライバシーなのかももう一度議論しなければならないと思っている。このようなことを実現すべく関西地区会の皆さんと一緒に努力していきたいと話された。

議事に入り、最初に地区会事務局から来賓の紹介があった後、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課・横田一磨課長補佐から、情報サービス産業の現状及び経済産業省の情報政策として、我が国の情報政策の方向性～IT融合による新産業創出に向けて～の概要について説明があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の業界動向(特サビ動態統計、DI調査)の説明の後、情報サービス産業白書2013「変革への絶えざる挑戦」アンケート中間報告、韓国ICT事情視察、平成23年度地域活性化事業のまとめ「地域を変える情報サービス産業を目指して」、労働者派遣法改正法、今夏の電力需給対策等、最近のJISA活動状況について報告があった。

最後に、関西地区会事務局から、平成24年度活動計画及び予算並びに四半期の活動及び会計、地区会常任幹事交代について報告があった。

休憩を挟んで、株式会社TMオフィス・代表取締役 プロデューサーの殿村美樹氏による「心に響くPR戦略」と題しての講演が行われた。殿村氏のこれまでの代表的な仕事としては、「今年の漢字」プロデュース、「佐世保バーガー」「さぬきうどん観光」「ひこにゃん」の全国PR戦略などがある。

(菊池)